

校長室だより

H26. 1. 17
No. 8

岸和田市立東葛城小学校 校長 西村好恵

寒中お見舞い申し上げます



どの星も小さく見えて空凍つる 辻 多津子

寒中にふさわしい気候が続いています。凍てつくような外気の中、見上げる星はこの俳句のようでしょうか。くっきりとオリオン座・そしてひときわ明るい木星が輝いています。この時期ならではの夜空ですね。

もうお正月気分ではありませんが、本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、午年の今年は・・・

2014年（平成26年）の干支は「甲午（きのえうま）」であって、火災が多いという迷信の年「丙午（ひのえうま）」とは別物です。さて、甲の文字は亀の甲羅から来ており、固い殻、つまり種を意味するものになります。一方の午は、「つきあたる」「さからう」の意味を表す忤から来ています。これは、植物の生育が止まり衰退の兆しを見せている状態とされます。

一方で、次のようにウマは大変縁起がよいとされています。

- ・ウマを逆さにするとマウ=舞うという言葉に繋がり商売繁盛。
- ・馬は『ものがごとが“うま”くいく』『幸福が駆け込んでくる』といわれ、縁起が良い。
- ・生まれたての子馬は生後1時間ほどでしっかりと立ち上がり、3時間もしないうちに駆け回ることができるようになることから、『立ち上がり早い』とか『立身出世の象徴』などと言われています。（以上 インターネットからの情報です）

馬は古い時代から人間との関わりが強くことわざや四字熟語もたくさんあります。8日の始業式では「牛も千里 馬も千里」という話をしました。ゆっくり派の代表の牛が千里をいくのも、スピード派の馬が千里をいくのもゴールは同じ千里先。早く着く方がいいこともある。ゆっくりいくと周りの景色もよく見え思いがけなくいい想いをすることもある。勉強も同じ、ゆっくりでもいい、自分にあった方法で着実に力をつけようという話をしました。

今年も午年にあやかり、何事も馬〜くいくよい年にしたいものです。

そして目指すは「日本一の学校」

日本一をめざす学校の6年生がともしっかりしてきました。卒業を控え最後の学期という覚悟がたわってきます。5年生も後に続け！実り多い3学期になりますように！



さて、㊦ ㊧ にちなんで、言葉遊びをしてみました。先生達のできばえはいかがでしょうか？ 2年生の上坂直也君も協力してくれました。子ども達の応募を待っています！

- ㊦ ーんとかんばるこの一年 ㊧ けないぞ 弱い心に (西村)
- ㊦ れしい言葉『ありがとう』 ㊧ いにちだれかに感謝の心 (靄)
- ㊦ つくしい心 ㊧ じめな態度 大好きです (森)
- ㊦ んどう べんきょうしっかりと ㊧ いにちそだてる心と体 (藤本)
- ㊦ れしいことが ㊧ いおる
- ㊦ りよくしてれば ㊧ ぜんとね (鈴木)
- ㊦ れしいことばづかい ㊧ じめなひと (2年 上坂直也)
- ㊦ がいブクブク ㊧ めにてあらい
- これで予防が ㊦ ㊧ くいく！ (西村)

うまくできかな？



冬休みの出来事



冬休みはご家庭でも楽しい行事があったことでしょうかね。東葛城校区は地域の結束が強いと感じています。上白原町では、松本正幸さん（ひょうたん名人）が中心になって子ども達にクリスマス会を計画してくださいました。毎朝子ども達の登校を見守ってくださり、常に「子ども達のために」をモットーにしてくださいています。上白原方面は交通量も多く、道幅も狭く歩道のない場所もあり、登校に安全な場所まで送り届けてくださっています。そんな活動をともにしてくださいしているのが駐在所の森川さん。そんなつながり

を是非みたいと岸和田警察署長さんもクリスマス会に参加してくださいました。子ども達はサンタさん（上白原町有志のおじいちゃん）に大喜び。プレゼントにも大喜びでした。イルミネーションは年々バージョンアップ！地域のみなさんの子ども達への愛情を感じるひとときでした。

こちらは市民協の新春マラソン大会。年明け早々の1月2日、お正月気分もなんのその。元気一杯の子ども達が東葛城路を走りました。マラソン大会に向けての準備等、担当の方のご苦労は大変だったろうなと・・・感謝！

